

救急救命の基礎

責 任 者・コーディネーター		薬科学講座構造生物薬学分野 阪本 泰光 教授	
担当講座・学科(分野)		薬科学講座構造生物薬学分野、臨床薬学講座情報薬科学分野	
対象学年	3・4	区分・時間数	講義 2 時間（1 コマ） 演習 6 時間（3 コマ）
期 間	後期		
単 位 数	0.5 単位		

・学修方針（講義概要等）

薬局には、様々な疾患を有する患者が来訪する。また、災害時には、多数の傷病者が発生する。体調が急変した患者、災害による傷病者への迅速な対応が、その後の救命に大きく影響する。救急車が到着する前の一次救命処置を、薬局実習に臨む前の学生が身につけることは非常に重要であり、本講義、演習を通じて、上級救命講習に準ずる知識と技能を身につけることを目的とする。

・教育成果（アウトカム）

本講義、演習を通じて、上級救命講習に準ずる知識と技能を身につけ、一次救命を適切に行うことができるようになる。
(ディプロマ・ポリシー：1, 4, 5, 6, 9,)

・到達目標（SBO）

1. 一次救命に必要な早期認識、通報を行うことができる。(886)
2. 心肺蘇生やAEDによる救命措置を行うことができる。(886)
3. 異物除去、止血を行うことができる。(886)
4. 傷病者管理、搬送を行うことができる。
5. 災害時における医療について説明できる。(885, 1026, 1027, 1058-1060)

・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
12～1月 予定	未定	4 限 予定	構造生物薬学分野	阪本 泰光 教授 氏家 悠貴 助教	講義：ICU および DMAT における薬剤師 1. ICU における薬剤師の働きについて説明できるようになる。 2. 災害時における薬剤師、コメディカルの働きについて説明できるようになる。 （講師：秋田大学医学部附属病院 主任薬剤師 八木 さおり 氏、竹重病院 理学療法士 三浦 一望 氏） 事前学修：ICU、災害医療について学んでおく 事後学修：講義資料復習する。

【演習】

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
12～1月 予定	未定	1 限 予定	構造生物薬学分野 情報薬科学分野	阪本 泰光 教授 氏家 悠貴 助教	演習：上級救命講習に準ずる内容 心肺蘇生やA E D、異物除去、止血法、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法一次救命に必要な早期認識、通報 1. 心肺蘇生やA E Dによる救命措置を行うことができる。 2. 異物除去、止血を行うことができる。 3. 傷病者管理、搬送を行うことができる。 （講師：盛岡地区広域消防組合消防本部 他） 【グループワーク】【ロールプレイ】 事前学修：総務省の応急手当て WEB 講習上級救命講習編を必ず受講し修了テストを受験しておくこと 事後学修：演習で身につけたこと、配布されたテキストを参考にし、一次救命措置が必要な事態に対応できるようにする。
12～1月 予定	未定	2 限 予定	構造生物薬学分野 情報薬科学分野	阪本 泰光 教授 氏家 悠貴 助教	演習：上級救命講習に準ずる内容 心肺蘇生やA E D、異物除去、止血法、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法 1. 一次救命に必要な早期認識、通報を行うことができる。 2. 心肺蘇生やA E Dによる救命措置を行うことができる。 3. 異物除去、止血を行うことができる。 4. 傷病者管理、搬送を行うことができる。 （講師：盛岡地区広域消防組合消防本部 他） 【グループワーク】【ロールプレイ】 事前学修：総務省の応急手当て WEB 講習上級救命講習編を必ず受講し修了テストを受験しておくこと 事後学修：演習で身につけたこと、配布されたテキストを参考にし、一次救命措置が必要な事態に対応できるようにする。

12～1月 予定	未定	3 限 予定	構造生物薬学分野 情報薬科学分野	阪本 泰光 教授 氏家 悠貴 助教	演習：上級救命講習に準ずる内容 心肺蘇生やAED、異物除去、止血法、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法 1. 一次救命に必要な早期認識、通報を行うことができる。 2. 心肺蘇生やAEDによる救命措置を行うことができる。 3. 異物除去、止血を行うことができる。 4. 傷病者管理、搬送を行うことができる。 （講師：盛岡地区広域消防組合消防本部 他） 【グループワーク】【ロールプレイ】 事前学修：総務省の応急手当て WEB 講習上級救命講習編を必ず受講し修了テストを受験しておくこと 事後学修：演習で身につけたこと、配布されたテキストを参考にし、一次救命措置が必要な事態に対応できるようにする。
-------------	----	-----------	---------------------	----------------------	--

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	救急蘇生法の指針 2020(市民用)	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	Web にて無償公開 https://qqzaidan.jp/wp-content/uploads/doc-shishin/shishin2020_shimin_hp.pdf へるす出版	2020
参	JRC 蘇生ガイドライン 2020	日本蘇生協議会	Web にて無償公開 https://www.jrc-cpr.org/jrc-guideline-2020/	2020
参	救急蘇生法の指針 2020(市民用・解説編)	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	へるす出版	2021
参	救急蘇生法の指針 2020(医療従事者用)	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	へるす出版	2022

・成績評価方法

演習終了時の救命救急法の修了試験（記述式 70 %）と技能習得状況(技能 30 %)により評価する。
--

・特記事項・その他

講義の事前学習として、災害時等の薬剤師の役割について、30分程度学習し、講義後の事後学習では、講義内容についての復習を30分行うこと。

演習の事前学習として、総務省の応急手当WEB講習上級救命講習編の受講（2時間）、修了試験の受験（1時間）をすること。

心肺蘇生法の演習を実施するため、踵のある上履き、動きやすい服装で参加すること。

また、身体的な理由等により演習に際して配慮が必要な場合には申し出ること。

受講者が少ない場合には1月第4日曜日に盛岡中央消防署で実施する上級救命講習（4.5時間）の受講と修了試験（記述式）の合格をもって、3回分の演習の受講と見做す場合がある。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院、DMATにおいて、薬剤師業務の実務経験を有する教員（氏家悠貴）、外部講師（八木さおり）が専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター Acer H6517ST	1	資料掲示
演習	ミニアン（CPR・AED学習キット）	1	CPRの練習
演習	パルスオキシメーター	1	SpO2の測定
演習	非接触体温計	1	非接触での体温測定
演習	聴診器、血圧計	1	電源喪失時の血圧測定練習
演習	ポータブル心電計	1	心電図の測定練習
演習	体重・体組成計	1	体重、体組成測定
演習	自動血圧計	1	血圧測定